

グローバル・ハイブリッド・プレミア (為替ヘッジあり)

運用報告書 (全体版)

第29期 (決算日 2017年3月17日) 第31期 (決算日 2017年5月17日) 第33期 (決算日 2017年7月18日)
第30期 (決算日 2017年4月17日) 第32期 (決算日 2017年6月19日) 第34期 (決算日 2017年8月17日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

「グローバル・ハイブリッド・プレミア (為替ヘッジあり)」は、2017年8月17日に第34期の決算を行ないましたので、第29期から第34期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／その他資産 (ハイブリッド証券)
信託期間	2014年11月5日から2024年8月19日までです。
運用方針	主として、世界の金融機関が発行するハイブリッド証券を主要投資対象とする投資信託証券 (投資信託または外国投資信託の受益証券 (振替投資信託受益権を含みます。)) および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。) の一部、またはすべてに投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	「グローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド JPYヘッジド・クラス」受益証券 「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券 上記の投資信託証券を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券、短期社債等、コマーシャル・ペーパーおよび指定金銭信託以外の有価証券への直接投資は行ないません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	第1計算期は収益分配を行ないません。第2計算期以降、毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。

<642509>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
<http://www.nikkoam.com/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近30期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			債 組 入 比	券 率	投 資 組 入 比	信 託 券 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金					
	円		円		%	%	%	百万円	
5期(2015年3月17日)	10,001		40		1.1	0.1	95.0	153	
6期(2015年4月17日)	10,005		40		0.4	0.1	95.0	155	
7期(2015年5月18日)	9,925		40		△0.4	0.1	95.0	150	
8期(2015年6月17日)	9,698		40		△1.9	0.1	95.0	172	
9期(2015年7月17日)	9,837		40		1.8	0.1	94.6	175	
10期(2015年8月17日)	9,716		40		△0.8	0.1	95.0	173	
11期(2015年9月17日)	9,653		40		△0.2	0.1	94.4	154	
12期(2015年10月19日)	9,579		40		△0.4	0.1	95.0	152	
13期(2015年11月17日)	9,634		40		1.0	0.1	95.0	153	
14期(2015年12月17日)	9,556		40		△0.4	0.1	95.0	147	
15期(2016年1月18日)	9,433		40		△0.9	0.1	94.9	144	
16期(2016年2月17日)	8,748		40		△6.8	0.1	94.6	133	
17期(2016年3月17日)	9,202		40		5.6	0.1	94.9	140	
18期(2016年4月18日)	9,171		40		0.1	—	93.8	129	
19期(2016年5月17日)	9,222		40		1.0	—	95.0	103	
20期(2016年6月17日)	9,080		40		△1.1	—	94.9	90	
21期(2016年7月19日)	9,232		40		2.1	—	95.0	86	
22期(2016年8月17日)	9,378		40		2.0	—	95.0	81	
23期(2016年9月20日)	9,385		40		0.5	—	95.0	70	
24期(2016年10月17日)	9,372		40		0.3	—	95.0	70	
25期(2016年11月17日)	9,285		40		△0.5	—	94.9	66	
26期(2016年12月19日)	9,412		40		1.8	—	95.0	68	
27期(2017年1月17日)	9,457		40		0.9	—	95.0	68	
28期(2017年2月17日)	9,568		40		1.6	—	95.0	69	
29期(2017年3月17日)	9,638		40		1.1	—	95.0	66	
30期(2017年4月17日)	9,671		40		0.8	—	95.0	63	
31期(2017年5月17日)	10,011		40		3.9	—	95.0	61	
32期(2017年6月19日)	9,984		40		0.1	—	95.2	41	
33期(2017年7月18日)	10,058		40		1.1	—	95.0	41	
34期(2017年8月17日)	10,165		40		1.5	—	100.2	46	

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準	価 額		債 組 入 比	券 率	投 資 信 託 組 入 比	託 券 率
			騰 落 率	率				
第29期	(期 首) 2017年2月17日	円	9,568	%	—	%	—	95.0
	2月末	9,660	1.0	—	—	95.1		
	(期 末) 2017年3月17日	9,678	1.1	—	—	95.0		
第30期	(期 首) 2017年3月17日	9,638	—	—	—	95.0		
	3月末	9,697	0.6	—	—	95.0		
	(期 末) 2017年4月17日	9,711	0.8	—	—	95.0		
第31期	(期 首) 2017年4月17日	9,671	—	—	—	95.0		
	4月末	9,895	2.3	—	—	95.1		
	(期 末) 2017年5月17日	10,051	3.9	—	—	95.0		
第32期	(期 首) 2017年5月17日	10,011	—	—	—	95.0		
	5月末	10,060	0.5	—	—	95.1		
	(期 末) 2017年6月19日	10,024	0.1	—	—	95.2		
第33期	(期 首) 2017年6月19日	9,984	—	—	—	95.2		
	6月末	10,044	0.6	—	—	95.0		
	(期 末) 2017年7月18日	10,098	1.1	—	—	95.0		
第34期	(期 首) 2017年7月18日	10,058	—	—	—	95.0		
	7月末	10,191	1.3	—	—	95.0		
	(期 末) 2017年8月17日	10,205	1.5	—	—	100.2		

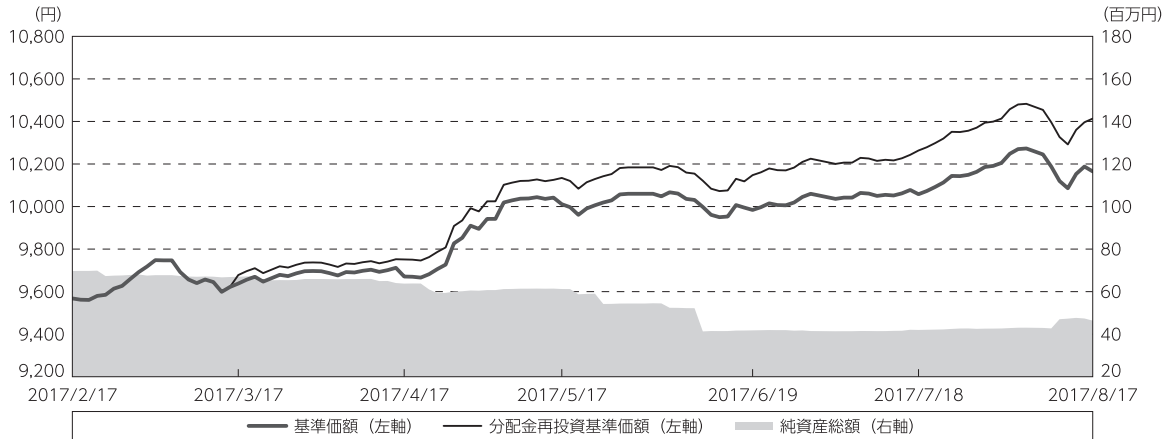
(注) 期末の基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

（2017年2月18日～2017年8月17日）

作成期間中の基準価額等の推移



第29期首：9,568円

第34期末：10,165円（既払分配金（税込み）：240円）

騰落率：8.8%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2017年2月17日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、世界の金融機関が発行するハイブリッド証券を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっております。ハイブリッド証券の中でもCOC債を中心に投資しております。また、為替ヘッジを行なうことにより、為替変動リスクの低減を図っております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・保有銘柄からインカム収益を得たこと。
- ・保有銘柄の価格が上昇したこと。

投資環境

（Ｃ○Ｃ○債市況）

期間中のＣ○Ｃ○債市場は、概ね一本調子の上昇となり、好調でした。期間の初めから2017年4月にかけては、1月に発足した米国トランプ新政権が保護主義的な政策に踏み切るとの警戒感の後退、欧米の国債金利が低水準で落ち着いた動きとなったこと、および欧州における景況感の改善を受けて、Ｃ○Ｃ○債市場は緩やかな上昇基調を辿りました。期間中の最大のイベントとなったのは、2017年4月から5月にかけて実施されたフランス大統領選挙でした。親EU（欧州連合）派を掲げ、穏健派と目されたマクロン氏がガルペン氏を破って当選したことを受けて、欧州の政治リスクが大きく低下したとの安心感が広がり、金融市場は大きく上昇しました。欧州の銀行が発行体の多くを占めるＣ○Ｃ○債市場の上昇ペースも加速しました。その後、7月にかけては、主要国の景況感が揃って改善して世界同時景気拡大の様相を呈したこと、多くのリスク性資産におけるボラティリティ（価格変動性）の低下、および先進国金利市場の安定の継続を背景に、Ｃ○Ｃ○債市場は続伸しました。6月には経営危機に陥ったスペインのポピュラー・エスパニョール銀行が同国のサンタンデル銀行に買収されることに伴ない、ポピュラー・エスパニョール銀行のＣ○Ｃ○債が大幅に値下がりしました。しかし、同行の信用状況の悪化が他の欧州の銀行へ波及するリスクは限定的であると冷静に受け止められたことから、Ｃ○Ｃ○債市場への悪影響は見られませんでした。8月には、米国と北朝鮮間の緊張の高まりによる世界的なリスク性資産の下落を受けてＣ○Ｃ○債も値下がりしましたが、調整は一時的かつ小幅なものにとどまりました。

（国内短期金利市況）

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの-0.05%近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、-0.05%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの-0.27%近辺から、日銀による国債買入れの継続や追加の金融緩和観測などを受けてマイナス圏での推移が続き、-0.13%近辺で期間末を迎えました。

当ファンドのポートフォリオ

（当ファンド）

収益性を追求するため「グローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド JPYヘッジド・クラス」円建受益証券を高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制しました。

（グローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド JPYヘッジド・クラス）

G-S I F I s（グローバルなシステム上重要な金融機関）に含まれる銀行を中心としたＣ○Ｃ○債、ハイブリッド証券を主たる投資対象とし、相対的に投資妙味が高いと判断した銘柄に投資を行ないました。ポートフォリオのデュレーション（金利感応度）は4～5年、平均格付けはBB+としました。発行体は20前後、40銘柄程度に分散投資しました。期間中のＣ○Ｃ○債の価格の上昇を受けて、利回りは低下しました。

為替ヘッジを行なうことにより、為替変動リスクの低減を図りました。

（マネー・アカウント・マザーファンド）

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コールローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

分配金

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第29期	第30期	第31期	第32期	第33期	第34期
	2017年2月18日～ 2017年3月17日	2017年3月18日～ 2017年4月17日	2017年4月18日～ 2017年5月17日	2017年5月18日～ 2017年6月19日	2017年6月20日～ 2017年7月18日	2017年7月19日～ 2017年8月17日
当期分配金	40	40	40	40	40	40
（対基準価額比率）	0.413%	0.412%	0.398%	0.399%	0.396%	0.392%
当期の収益	40	40	40	40	40	40
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	412	422	436	439	450	463

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、「グローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド JPYヘッジド・クラス」円建受益証券を原則として高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制する方針です。

（グローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド JPYヘッジド・クラス）

主要国経済の良好なファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）、欧米の銀行の信用力の安定、および利回り面での魅力を背景に、C o C o債は今後も堅調に推移するとみています。C o C o債市場の急落に直結し得る材料は見当たりません。2017年初来の上昇によりC o C o債の利回りは低下していますが、各種債券と比べると、依然として相対的に高い利回りを提供しています。また、ECB（欧州中央銀行）は2017年後半にも量的緩和プログラムの縮小を開始する可能性を示唆していますが、年初来のユーロ高が欧州景気の成長ペースを抑制するとみられ、欧州では金利の低い状態が当面継続すると予想されることもプラス要因です。

今後もG-S I F I sに含まれる銀行を中心としたC o C o債、ハイブリッド証券を主たる投資対象とし、新規発行証券への投資も検討しながら、運用を継続する方針です。

為替ヘッジを行なうことにより、為替変動リスクの低減を図ります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

（マネー・アカウント・マザーファンド）

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主な投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コールローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2017年2月18日～2017年8月17日)

項 目	第29期～第34期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	50	0.509	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(17)	(0.171)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(32)	(0.321)	運用報告書など各種書類の送付、口内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（ 受 託 会 社 ）	(2)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	5	0.049	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 ）	(5)	(0.046)	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	55	0.558	
作成期間の平均基準価額は、9,924円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合があります。

○ 売買及び取引の状況

(2017年2月18日～2017年8月17日)

投資信託証券

銘 柄		第29期～第34期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国 内	千口	千円	千口	千円	
	10,092	10,429	32,990	33,444	

(注) 金額は受け渡し代金。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第29期～第34期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
マナー・アカウント・マザーファンド	千口 7	千円 7	千口 30	千円 30

○利害関係人との取引状況等

(2017年2月18日～2017年8月17日)

利害関係人との取引状況

<グローバル・ハイブリッド・プレミア（為替ヘッジあり）>

区 分	第29期～第34期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
投資信託証券	百万円 10	百万円 10	% 100.0	百万円 33	百万円 33	% 100.0
金銭信託	3	3	100.0	3	3	100.0

<マナー・アカウント・マザーファンド>

区 分	第29期～第34期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
金銭信託	百万円 357	百万円 357	% 100.0	百万円 357	百万円 357	% 100.0

平均保有割合 0.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当ファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況（2017年2月18日～2017年8月17日）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2017年2月18日～2017年8月17日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2017年8月17日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	第28期末		第34期末			
		口	数	口	数	評 価 額	比 率
			千口		千口	千円	%
グローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド	JPYヘッジ・クラス	67,560		44,662		46,467	100.2
	合 計	67,560		44,662		46,467	100.2

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

親投資信託残高

銘	柄	第28期末		第34期末		
		口	数	口	数	評 価 額
			千口		千口	千円
マネー・アカウント・マザーファンド		68		45		45

(注) 親投資信託の2017年8月17日現在の受益権総口数は、570,338千口です。

○投資信託財産の構成

(2017年8月17日現在)

項 目	第34期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	46,467	92.0
マネー・アカウント・マザーファンド	45	0.1
コール・ローン等、その他	3,981	7.9
投資信託財産総額	50,493	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第29期末	第30期末	第31期末	第32期末	第33期末	第34期末
	2017年3月17日現在	2017年4月17日現在	2017年5月17日現在	2017年6月19日現在	2017年7月18日現在	2017年8月17日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	67,351,504	65,181,658	61,571,089	42,061,456	42,247,226	50,493,647
コール・ローン等	3,334,297	3,266,583	3,024,383	2,241,382	2,315,718	3,134,319
投資信託受益証券(評価額)	63,646,389	60,586,189	58,175,311	39,778,307	39,889,719	46,467,029
マネー・アカウンツ・マザーファンド(評価額)	66,744	63,709	59,057	41,767	41,789	45,814
未収入金	304,074	1,265,177	312,338	—	—	846,485
(B) 負債	370,246	1,409,758	344,878	268,239	257,210	4,128,976
未払金	—	—	—	—	—	2,383,273
未払収益分配金	277,977	263,774	244,630	167,433	166,991	182,455
未払解約金	—	1,044,549	—	—	—	1,466,757
未払信託報酬	53,435	57,300	51,407	47,603	33,951	36,824
未払利息	2	3	3	3	3	3
その他未払費用	38,832	44,132	48,838	53,200	56,265	59,664
(C) 純資産総額(A-B)	66,981,258	63,771,900	61,226,211	41,793,217	41,990,016	46,364,671
元本	69,494,332	65,943,727	61,157,704	41,858,261	41,747,997	45,613,955
次期繰越損益金	△ 2,513,074	△ 2,171,827	68,507	△ 65,044	242,019	750,716
(D) 受益権総口数	69,494,332口	65,943,727口	61,157,704口	41,858,261口	41,747,997口	45,613,955口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,638円	9,671円	10,011円	9,984円	10,058円	10,165円

(注) 当ファンドの第29期首元本額は72,842,182円、第29～34期中追加設定元本額は7,546,181円、第29～34期中一部解約元本額は34,774,408円です。

(注) 1口当たり純資産額は、第29期0.9638円、第30期0.9671円、第31期1.0011円、第32期0.9984円、第33期1.0058円、第34期1.0165円です。

○損益の状況

項 目	第29期	第30期	第31期	第32期	第33期	第34期
	2017年2月18日～ 2017年3月17日	2017年3月18日～ 2017年4月17日	2017年4月18日～ 2017年5月17日	2017年5月18日～ 2017年6月19日	2017年6月20日～ 2017年7月18日	2017年7月19日～ 2017年8月17日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	386,292	368,275	339,927	231,142	229,359	253,646
受取配当金	386,374	368,374	340,076	231,295	229,434	253,721
受取利息	1	—	—	—	2	1
支払利息	△ 83	△ 99	△ 149	△ 153	△ 77	△ 76
(B) 有価証券売買損益	437,946	169,381	2,041,125	△ 123,050	277,826	390,354
売買益	450,237	178,481	2,044,065	42,050	280,597	400,398
売買損	△ 12,291	△ 9,100	△ 2,940	△ 165,100	△ 2,771	△ 10,044
(C) 信託報酬等	△ 58,622	△ 62,864	△ 56,406	△ 52,217	△ 37,248	△ 40,396
(D) 当期損益金(A+B+C)	765,616	474,792	2,324,646	55,875	469,937	603,604
(E) 前期繰越損益金	△ 1,829,821	△ 1,264,976	△ 975,139	743,602	622,224	891,703
(F) 追加信託差損益金	△ 1,170,892	△ 1,117,869	△ 1,036,370	△ 697,088	△ 683,151	△ 562,136
(配当等相当額)	(349,319)	(347,672)	(327,816)	(251,970)	(274,289)	(507,391)
(売買損益相当額)	(△ 1,520,211)	(△ 1,465,541)	(△ 1,364,186)	(△ 949,058)	(△ 957,440)	(△ 1,069,527)
(G) 計(D+E+F)	△ 2,235,097	△ 1,908,053	313,137	102,389	409,010	933,171
(H) 収益分配金	△ 277,977	△ 263,774	△ 244,630	△ 167,433	△ 166,991	△ 182,455
次期繰越損益金(G+H)	△ 2,513,074	△ 2,171,827	68,507	△ 65,044	242,019	750,716
追加信託差損益金	△ 1,170,892	△ 1,117,869	△ 1,036,370	△ 697,088	△ 683,151	△ 562,136
(配当等相当額)	(349,319)	(347,672)	(327,816)	(251,970)	(274,289)	(507,391)
(売買損益相当額)	(△ 1,520,211)	(△ 1,465,541)	(△ 1,364,186)	(△ 949,058)	(△ 957,440)	(△ 1,069,527)
分配準備積立金	2,518,773	2,435,325	2,340,442	1,586,653	1,607,525	1,604,654
繰越損益金	△ 3,860,955	△ 3,489,283	△ 1,235,565	△ 954,609	△ 682,355	△ 291,802

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2017年2月18日～2017年8月17日)は以下の通りです。

項 目	2017年2月18日～ 2017年3月17日	2017年3月18日～ 2017年4月17日	2017年4月18日～ 2017年5月17日	2017年5月18日～ 2017年6月19日	2017年6月20日～ 2017年7月18日	2017年7月19日～ 2017年8月17日
a. 配当等収益(経費控除後)	358,816円	325,213円	331,872円	178,925円	212,515円	237,734円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越大損金補填後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	349,319円	347,672円	327,816円	251,970円	274,289円	507,391円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	2,437,934円	2,373,886円	2,253,200円	1,575,161円	1,562,001円	1,549,375円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	3,146,069円	3,046,771円	2,912,888円	2,006,056円	2,048,805円	2,294,500円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	452円	462円	476円	479円	490円	503円
g. 分配金	277,977円	263,774円	244,630円	167,433円	166,991円	182,455円
h. 分配金(1万口当たり)	40円	40円	40円	40円	40円	40円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上処理しています。

○分配金のお知らせ

	第29期	第30期	第31期	第32期	第33期	第34期
1 万口当たり分配金（税込み）	40円	40円	40円	40円	40円	40円

○お知らせ

約款変更について

2017年2月18日から2017年8月17日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

種類・項目	グローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド JPYヘッジド・クラス	
	ケイマン籍円建外国投資信託	
運用の基本方針		
基本方針	信託財産の中長期的な成長を目指します。	
主な投資対象	世界の金融機関が発行するハイブリッド証券を主要投資対象とします。	
投資方針	<ul style="list-style-type: none"> ・主として、世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資を行ない、相対的に高水準かつ安定的な利子・配当等収益の獲得を図りつつ、中長期的に信託財産の着実な成長を目指します。 ・外貨建資産については、為替変動リスクの低減を図るため、原則として対円での為替ヘッジを行ないます。 	
主な投資制限	・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。	
収益分配	原則として、毎月10日（休日の場合は翌営業日）に分配を行ないます。 なお、管理会社の判断により収益分配を行なわないことがあります。	
ファンドに係る費用		
信託報酬など	純資産総額に対し年率0.74% (国内における消費税等相当額はかかりません。)	
申込手数料	ありません。	
信託財産留保額	ありません。	
その他の費用など	事務管理費用、資産の保管費用、有価証券売買時の売買委託手数料、設立に係る費用、法律顧問費用、監査費用、信託財産に関する租税など。	
その他		
投資顧問会社	アルジェブリス・インベストメンツ（UK）エルエルピー	
管理会社	日興AMグローバル・ケイマン・リミテッド	
信託期間	2163年3月26日まで	
決算日	原則として、毎年12月末日	

◎投資有価証券明細表

グローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド

2016年12月31日

	保有額面	公正価値 (米ドル)	純資産価額に 占める割合%
社債			
スペイン			
Santander Issuances 5.179% 19-Nov-25	200,000	201,881	0.45
スペイン合計 (取得原価 : US\$200, 020)		201,881	0.45
スイス			
Credit Suisse Ag 6.5% 8-Aug-23	500,000	531,125	1.18
スイス合計 (取得原価 : US\$543, 537)		531,125	1.18
社債合計 (取得原価 : US\$743, 557)		733,006	1.63
変動利付債			
フランス			
BNP Paribas FRN Perp3	600,000	603,717	1.34
BNP Paribas FRN Perp4	1,100,000	1,215,679	2.70
BNP Paribas SA FRN Perp	1,000,000	1,055,100	2.34
Credit Agricole FRN Perp7	2,000,000	2,020,180	4.49
Credit Agricole FRN Perp8	1,965,000	1,915,010	4.26
Societe Generale FRN Perp2	400,000	398,360	0.89
Societe Generale FRN Perp	1,000,000	1,040,060	2.31
Societe Generale FRN.Perp	2,000,000	1,930,000	4.29
フランス合計 (取得原価 : US\$10, 221, 646)		10,178,106	22.62
ドイツ			
Deutsche Bank FRN 24-May-28	600,000	555,347	1.23
ドイツ合計 (取得原価 : US\$519, 442)		555,347	1.23
イタリア			
Intesa Sanpaolo FRN Perp3	800,000	832,621	1.85
Unicredit Spa FRN Perp	500,000	458,750	1.02
Unicredit Spa FRN Perp	650,000	725,345	1.61
イタリア合計 (取得原価 : US\$1, 994, 820)		2,016,716	4.48

	保有額面	公正価値 (米ドル)	純資産価額に 占める割合%
変動利付債 (続き)			
オランダ			
ING Groep FRN Perp3	1,700,000	1,632,170	3.63
ING Groep Nv FRN Perp	500,000	502,822	1.12
オランダ合計 (取得原価 : US\$2, 192, 026)		2,134,992	4.75
スペイン			
Banco Santander FRN Perp	2,000,000	1,972,387	4.38
Banco Santander FRN Perp2	500,000	494,046	1.10
Bbva FRN Perp3	1,200,000	1,205,227	2.68
Bbva FRN Perp6	1,400,000	1,587,550	3.53
スペイン合計 (取得原価 : US\$5, 976, 662)		5,259,210	11.69
スイス			
Credit Suisse Gp FRN Perp	2,790,000	2,919,038	6.49
UBS FRN Perp1	1,000,000	1,028,374	2.28
UBS FRN Perp2	1,100,000	1,154,208	2.56
UBS Group AG FRN Perp	1,000,000	988,208	2.20
UBS Group FRN Perp	500,000	515,625	1.15
スイス合計 (取得原価 : US\$6, 556, 916)		6,605,453	14.68
英国			
Barclays Bank FRN Perp	2,200,000	2,060,018	4.58
Barclays FRN Perp	600,000	738,784	1.64
Barclays Plc FRN Perp	200,000	202,500	0.45
HSBC Hldgs FRN Perp2	1,450,000	1,581,084	3.51
HSBC Holdings Plc FRN Prp1	1,200,000	1,180,500	2.62
HSBC Holdings Plc FRN Perp	400,000	420,920	0.94
Lloyds Bkg FRN Perp	1,800,000	2,322,102	5.16
Lloyds Bkg FRN Perp	1,000,000	1,249,564	2.78
Nationwide Bldg Society FRN Perp	200,000	247,921	0.55
RBS Group Plc FRN Perp4	300,000	306,000	0.68
RBS Group Plc FRN Perp	1,600,000	1,532,000	3.40
RBS Group Plc FRN Perp	600,000	567,960	1.26
Santander UK FRN Perp	1,200,000	1,482,858	3.30
英国合計 (取得原価 : US\$15, 634, 278)		13,892,211	30.87

	保有額面	公正価値 (米ドル)	純資産価額に 占める割合%
変動利付債 (続き)			
米国			
Bank of America FRN Perp2	1,200,000	1,254,000	2.79
Citigroup FRN Perp9	600,000	623,580	1.39
米国合計 (取得原価 : US\$1, 800, 000)		1,877,580	4.18
変動利付債総額 (取得原価 : US\$44, 895, 790)		42,519,615	94.50
為替先渡契約		(921,115)	(2.05)
純金融資産総額		42,331,506	94.08
その他純資産		2,663,159	5.92
純資産総額		44,994,665	100.00

為替先渡契約

2016年12月31日時点において、シリーズ・トラストは保管会社との間で次の為替先渡契約を保有していた。

契約額 買い/ (売り)	通貨	満期	米ドル未収額/ (未払額) (米ドル)	外貨未収額/ (未払額) (米ドル)	未実現利益/ (損失) (米ドル)
(521,100)	豪ドル	2017年1月5日	394,070	(377,268)	16,802
8,168,300	ブラジル・レアル	2017年1月6日	(2,464,203)	2,504,218	40,015
(4,080,000)	英ポンド	2017年1月23日	5,054,051	(5,044,997)	9,054
100,000	英ポンド	2017年1月23日	(123,581)	123,652	71
(38,392,100)	インド・ルピー	2017年1月6日	566,793	(565,244)	1,549
(7,282,300,000)	インドネシア・ルピア	2017年1月6日	546,026	(539,946)	6,080
29,271,950	日本円	2017年1月4日	(250,369)	251,046	677
1,996,094,500	日本円	2017年1月23日	(17,071,142)	17,138,625	67,483
(9,263,900)	メキシコ・ペソ	2017年1月5日	474,355	(449,268)	25,087
(496,700)	ニュージーランド・ドル	2017年1月5日	353,946	(346,274)	7,672
(2,837,600)	ノルウェー・クローネ	2017年1月5日	340,616	(329,677)	10,939
36,446,800	南アフリカ・ランド	2017年1月5日	(2,621,714)	2,661,927	40,213
(1,471,100)	新トルコ・リラ	2017年1月5日	453,164	(417,668)	<u>35,496</u>
為替先渡契約に係る未実現利益：					<u>261,138</u>
4,584,700	豪ドル	2017年1月5日	(3,505,172)	3,319,249	(185,923)
(1,833,300)	ブラジル・レアル	2017年1月6日	555,821	(562,048)	(6,227)
(7,440,000)	ユーロ	2017年1月23日	7,778,260	(7,857,766)	(79,506)
167,141,600	インド・ルピー	2017年1月6日	(2,479,478)	2,460,812	(18,666)
32,308,777,100	インドネシア・ルピア	2017年1月6日	(2,464,588)	2,395,535	(69,053)
(4,189,258)	日本円	2017年1月4日	35,868	(35,928)	(60)
46,487,600	メキシコ・ペソ	2017年1月5日	(2,381,359)	2,254,492	(126,867)
4,791,200	ニュージーランド・ドル	2017年1月5日	(3,466,615)	3,340,179	(126,436)
27,590,000	ノルウェー・クローネ	2017年1月5日	(3,458,771)	3,205,457	(253,314)
7,331,600	新トルコ・リラ	2017年1月5日	(2,380,842)	2,081,551	(299,291)
(9,886,300)	南アフリカ・ランド	2017年1月5日	705,146	(722,056)	<u>(16,910)</u>
為替先渡契約に係る未実現（損失）：					<u>(1,182,253)</u>

上記の為替先渡契約はすべて様々な受益証券クラスのためのヘッジに関連している。上記の未決済契約の他方通貨はすべて米ドルである。上記の為替先渡契約は当期を通して保有していた為替先渡契約の代表的なものである。

シリーズ・トラストは、その取り組むデリバティブ商品やヘッジ活動についての情報開示に関し、FASB会計基準編纂書に記される権威あるガイダンスを採用している。このガイダンスはデリバティブおよびヘッジ活動についての高度な開示を必要とし、それによって財務報告の透明性を高めている。このガイダンスの目的は、なぜ、どのようにデリバティブ商品が使われているか、デリバティブ商品や関連したヘッジがどのように会計処理されているか、そしてデリバティブ商品や関連したヘッジが財務状況や業績、キャッシュフローに関係するとすればどのような影響を与えているかについて、財務諸表のユーザーに対し理解を深めるための目安を示すことである。このガイダンスを採用することで、資産負債計算書、損益計算書あるいは純資産変動計算書には何らの影響もなかった。シリーズ・トラストはいかなるデリバティブ商品もこのガイドの示すところのヘッジ商品として指定していない。

シリーズ・トラストによる為替先渡契約への投資は主としてクラス・ヘッジおよびカレンシー・オーバーレイを目的とし、主たるリスク・エクスポージャーは為替リスクである。

デリバティブ商品とヘッジ活動

次の表は2016年12月31日に終了した年度に係る損益計算書に含まれる、デリバティブに係る純利益（損失）を示す。

	実現利益/ (損失) (米ドル)	純未実現利益/ (損失)の変動 (米ドル)	合計 (米ドル)	当年度中の 平均活動 (米ドル)
為替先渡契約	8,257,053	(3,016,942)	5,240,111	32,340,321*

* 当年度中の平均活動は、それぞれの契約を米ドルに換算した際の想定元本ベースのエクスポージャーに基づく。

◎資産負債計算書

グローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド

2016年12月31日
(米ドル)**資産**

投資、公正価値（取得原価：US\$45,639,347）	43,252,621
現金	2,369,207
外貨（取得原価：US\$149,701）	150,376
為替先渡契約に係る未実現利益	261,138
未収利息	504,942
その他資産	3,597

資産合計**46,541,881****負債**

為替先渡契約に係る未実現損失	1,182,253
未払運用報酬	2,337
受益証券買戻しに係る未払金	251,024
その他未払手数料	111,602

負債合計**1,547,216****純資産****44,994,665**

受益証券1口当たり純資産価額ークラスAヘッジなし受益証券

（純資産総額934,853,057円と発行済受益証券976,515,225口に基づく）

0.9573円

受益証券1口当たり純資産価額ークラスB日本円ヘッジ付受益証券

（純資産総額2,001,179,220円と発行済受益証券2,062,055,263口に基づく）

0.9705円

受益証券1口当たり純資産価額ークラスCハイインカム・リキッド・カレンシー・

ユニット（純資産総額1,020,629,941円と発行済受益証券1,236,937,123口に基づく）

0.8251円

受益証券1口当たり純資産価額ークラスDハイインカム・エマージング・カレンシー・

ユニット（純資産総額1,291,290,542円と発行済受益証券1,735,360,792口に基づく）

0.7441円

◎損益計算書

グローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド

2016年12月31日に終了した年度
(米ドル)**投資収益**

受取利子 (源泉徴収税US\$118,039を除く)

4,291,914

配当収入

52,500

投資収益合計

4,344,414

費用

支払利子

850

受託者報酬

10,164

運用報酬

20,318

投資運用報酬

406,355

管理報酬

30,477

保管報酬

48,314

専門家報酬

34,991

その他費用

30,520

ファンドに係る総費用

581,989

投資純利益**3,762,425****純実現利益および未実現利益の変動額**

実現利益

投資および通貨に係る純実現損失

(2,435,618)

為替先渡契約に係る純実現利益

8,257,053

5,821,435

未実現評価損の変動額

投資および通貨に係る未実現評価損の純変動額

(556,027)

為替先渡契約に係る未実現評価損の純変動額

(3,016,942)

(3,572,969)

純実現利益および未実現利益の変動額**2,248,466**

運用から生じる純資産の純増加額

6,010,891

◎純資産変動計算書

グローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド

2016年12月31日に終了した年度
(米ドル)

運用から生じる純資産の純増加額

投資純利益	3,762,425
純実現利益	5,821,435
未実現評価損の純変動額	(3,572,969)

運用から生じる純資産の純増加額

6,010,891

受益者への分配金：

クラスAヘッジなし受益証券からの分配金	(868,589)
クラスB日本円ヘッジ付受益証券からの分配金	(1,591,704)
クラスCハイインカム・リキッド・カレンシー・ユニットからの分配金	(1,659,237)
クラスDハイインカム・エマージング・カレンシー・ユニットからの分配金	(4,921,939)
分配金合計	(9,041,469)

資本取引：

受益証券発行：

クラスAヘッジなし受益証券の発行 (302,156,944口)	2,501,957
クラスB日本円ヘッジ付受益証券の発行 (665,251,544口)	5,762,069
クラスCハイインカム・リキッド・カレンシー・ユニットの発行 (235,967,892口)	1,692,294
クラスDハイインカム・エマージング・カレンシー・ユニットの発行 (757,610,667口)	4,951,837
	14,908,157

受益証券買戻し：

クラスAヘッジなし受益証券の買戻し (816,497,374口)	(6,709,303)
クラスB日本円ヘッジ付受益証券の買戻し (1,256,808,336口)	(11,132,650)
クラスCハイインカム・リキッド・カレンシー・ユニットの買戻し (1,626,455,026口)	(11,780,819)
クラスDハイインカム・エマージング・カレンシー・ユニットの買戻し (4,083,508,099口)	(27,080,083)
	(56,702,855)

資本取引から生じる純資産の純減少額

(41,794,698)

純資産の純減少額

(44,825,276)

純資産

期首 89,819,941

期末 44,994,665

マネー・アカウント・マザーファンド

運用報告書

第7期（決算日 2016年10月12日）
（2015年10月14日～2016年10月12日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2009年10月30日から原則無期限です。
運用方針	公社債への投資により、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要運用対象	わが国の国債および格付の高い公社債を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行ないません。 外貨建資産への投資は行ないません。

ファンド概要

主として、わが国の国債および格付の高い公社債に投資を行ない、利息等収益の確保をめざして運用を行ないます。ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率	純 資 産 額
		騰 落	中 率			
3期(2012年10月12日)	円		%		%	百万円
	10,027		0.1		78.6	699
4期(2013年10月15日)	10,035		0.1		88.6	778
5期(2014年10月14日)	10,042		0.1		60.8	707
6期(2015年10月13日)	10,043		0.0		62.9	620
7期(2016年10月12日)	10,042		△0.0		—	483

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率
		騰 落	率		
(期 首) 2015年10月13日	円		%		%
	10,043		—		62.9
10月末	10,044		0.0		67.6
11月末	10,044		0.0		63.3
12月末	10,044		0.0		65.3
2016年1月末	10,044		0.0		65.7
2月末	10,044		0.0		72.8
3月末	10,044		0.0		67.6
4月末	10,044		0.0		—
5月末	10,043		0.0		—
6月末	10,043		0.0		—
7月末	10,043		0.0		—
8月末	10,043		0.0		—
9月末	10,042		△0.0		—
(期 末) 2016年10月12日	10,042		△0.0		—

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2015年10月14日～2016年10月12日)

基準価額の推移

期間の初め10,043円の基準価額は、期間末に10,042円となり、騰落率は△0.0%となりました。

基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・利息収入などを得たこと。

<値下がり要因>

- ・無担保コール翌日物金利がマイナス圏で推移したこと。

(国内短期金利市況)

無担保コール翌日物金利は、期間の初めから2016年2月前半までは、概ね0.05～0.09%の範囲で安定的に推移しました。2月後半以降は、日銀によるマイナス金利の導入開始などを受けて低下し、-0.03%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの0%近辺から、日銀による国債買入れの継続や追加の金融緩和観測などを受けて低下が進み、-0.31%近辺で期間末を迎えました。

ポートフォリオ

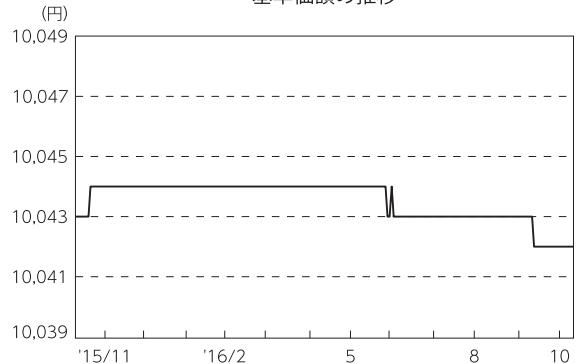
運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コール・ローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

○今後の運用方針

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主要投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コール・ローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

基準価額の推移



期首	期中高値	期中安値	期末
2015/10/13	2015/10/22	2016/09/12	2016/10/12
10,043円	10,044円	10,042円	10,042円

○1万口当たりの費用明細

(2015年10月14日～2016年10月12日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (そ の 他)	円 0 (0)	% 0.000 (0.000)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	0	0.000	
期中の平均基準価額は、10,043円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2015年10月14日～2016年10月12日)

公社債

		買 付 額	売 付 額
国		千円	千円
内	国債証券	3,051,625	2,311,628 (1,130,000)

(注) 金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注) 債券現先を含めています。

○利害関係人との取引状況等

(2015年10月14日～2016年10月12日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。

○組入資産の明細

(2016年10月12日現在)

2016年10月12日現在、有価証券等の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

(2016年10月12日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	484,532	100.0
投資信託財産総額	484,532	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2016年10月12日現在)

項	目	当	期	末
(A)	資産			円
	コール・ローン等			484,532,285
(B)	負債			
	未払解約金			484,532,285
	未払利息			1,508,661
(C)	純資産総額(A-B)			1,508,236
	元本			425
	次期繰越損益金			480,993,642
(D)	受益権総口数			2,029,982
	1万円当たり基準価額(C/D)			480,993,642口
				10,042円

(注) 当ファンドの期首元本額は617,609,609円、期中追加設定元本額は297,706,739円、期中一部解約元本額は434,322,706円です。

(注) 2016年10月12日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・資源株ファンド通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース> (毎月分配型)	61,656,805円	・アジア・ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジなし)	766,040円
・中華圏株式ファンド (毎月分配型)	60,490,846円	・USハイインカム・ストラテジー・ファンド (毎月分配型) 為替ヘッジなし	748,136円
・エマージング・プラス (マネーボールファンド)	41,242,762円	・世界標準債券ファンド (1年決算型)	723,698円
・アジア社債ファンド Bコース (為替ヘッジなし)	39,127,773円	・世界の高配当株式ファンド (通貨選択シリーズ・毎月分配型) ブラジルリアルコース	709,751円
・インデックスファンドMLP (毎月分配型)	37,663,662円	・インデックスファンドMLP・為替ヘッジあり (適格機関投資家向け)	593,798円
・アジア・ヘルスケア株式ファンド	36,556,016円	・アジア・ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジあり)	525,717円
・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (マネーボールファンド)	36,148,905円	・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランド・コース> (毎月分配型)	443,169円
・世界標準債券ファンド	26,395,547円	・世界のサイフ2 (毎月分配型)	401,193円
・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・ブラジルリアルコース	26,144,472円	・USハイインカム・ストラテジー・ファンド (毎月分配型) 為替ヘッジあり	352,186円
・アジア社債ファンド Aコース (為替ヘッジあり)	17,125,049円	・アジアインフラ株ファンド (毎月分配型) インドネシア・コース	338,114円
・エマージング・プラス・成長戦略コース	15,873,379円	・アジアインフラ株ファンド (毎月分配型) インドネシアルピア・コース	239,584円
・ピムコUSハイインカム・ローン・ファンド (毎月分配型) 為替ヘッジなし	11,068,946円	・ノーロード・インド株式フォークス (毎月分配型)	113,740円
・グリーン世銀債ファンド	6,903,139円	・世界の高配当株式ファンド (通貨選択シリーズ・毎月分配型) 資源通貨コース	105,748円
・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型 (新興国通貨戦略コース)	6,735,212円	・ABグローバル・ハイインカム・オープン (1年決算型) 為替ヘッジあり	102,030円
・RS豪ドル債券ファンド	5,978,333円	・上場インデックスファンド海外新興国株式 (MSCIエマージング)	99,902円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<オーストラリアドル・コース> (毎月分配型)	5,941,746円	・世界の高配当株式ファンド (通貨選択シリーズ・毎月分配型) オーストラリアドルコース	83,734円
・エマージング・プラス・円戦略コース	4,291,213円	・グローバル・ハイブリッド・プレミア (為替ヘッジあり)	70,452円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<米ドル・コース> (毎月分配型)	3,565,140円	・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型 (ヘッジなしコース)	69,984円
・インデックスファンドMLP (1年決算型)	3,231,725円	・オーストラリア・インカム株式ファンド (毎月分配型)	67,920円
・高金利成長通貨ファンド (毎月分配型)	2,827,219円	・世界の高配当株式ファンド (通貨選択シリーズ・毎月分配型) ヘッジなしコース	60,028円
・アジアリートファンド (毎月分配型)	2,818,206円	・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型 (通貨プレミアムコース)	45,596円
・SMBC・日興 世銀債ファンド	2,514,471円	・グローバル・ハイブリッド・プレミア (為替ヘッジなし)	40,174円
・アジアREITオープン (毎月分配型)	2,455,213円	・アジア債券ファンド (毎月分配型)	38,161円
・グローバルC o C o 債ファンド 円ヘッジコース	1,967,243円	・ABグローバル・ハイインカム・オープン (毎月分配型) 為替ヘッジなし	34,825円
・ピムコUSハイインカム・ローン・ファンド (毎月分配型) 為替ヘッジあり	1,490,881円	・上場インデックスファンド海外先進国株式 (MSCI-KOKUSAI)	19,997円
・グローバルC o C o 債ファンド 新興国高金利通貨コース	1,471,114円	・上場インデックスファンドNifty50先物 (インド株式)	19,983円
・欧州社債ファンド Bコース (為替ヘッジなし)	1,455,837円	・上場インデックスファンド米国株式 (S&P500)	19,983円
・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型 (円ヘッジコース)	1,425,937円	・上場インデックスファンド中国H株 (ハンセン中国企業株)	19,983円
・日興グラビティ・ファンド	1,370,174円	・上場インデックスファンド豪州リート (S&P/ASX200 A-REIT)	19,977円
・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・資源国3通貨コース	1,360,527円	・ABグローバル・ハイインカム・オープン (1年決算型) 為替ヘッジなし	16,862円
・グローバルC o C o 債ファンド 先進国高金利通貨コース	1,072,272円	・ノーロード世界株式トップフォーカス	13,682円
・日興マネー・アカウント・ファンド	1,069,770円	・ノーロード・シンガポール高配当株式フォークス (毎月分配型)	12,516円
・アジアインフラ株ファンド (毎月分配型) ブラジルリアル・コース	1,062,142円	・上場インデックスファンド新興国債券 (パークレイズLocal EM国債)	9,981円
・欧州社債ファンド Aコース (為替ヘッジあり)	998,560円	・上場インデックスファンド米国債券 (為替ヘッジあり)	9,958円
・グローバルC o C o 債ファンド ヘッジなしコース	921,896円	・上場インデックスファンド米国債券 (為替ヘッジなし)	9,958円
・日興GSグローバル・マーケッツ・ファンド	840,733円	・ABグローバル・ハイインカム・オープン (毎月分配型) 為替ヘッジあり	4,287円
・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・円コース	779,930円		

(注) 1口当たり純資産額は1.0042円です。

○損益の状況

(2015年10月14日～2016年10月12日)

項	目	当	期
(A)	配当等収益		△ 53,652
	受取利息		48,057
	支払利息		△ 101,709
(B)	有価証券売買損益		244
	売買益		244
(C)	保管費用等		△ 2,013
(D)	当期損益金 (A + B + C)		△ 55,421
(E)	前期繰越損益金		2,682,400
(F)	追加信託差損益金		1,297,094
(G)	解約差損益金		△ 1,894,091
(H)	計 (D + E + F + G)		2,029,982
	次期繰越損益金 (H)		2,029,982

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○お知らせ

約款変更について

2015年10月14日から2016年10月12日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。